

## リハビリの可能性を求めて(タイ)

### 足こぎ車いすを利用したリハビリプログラムの導入

国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社 TESS(宮城県仙台市、鈴木堅之代表取締役)が提案する「足こぎ車いすを利用したリハビリプログラム導入案件化調査」(タイ国)を採択しました。

タイにおいても高齢化社会が進んでおり、今後、高齢者や介助を必要とする人が増加すると予測されています。一方、リハビリや介護に従事する人材の数や技術が不足しており、その対策を考えなければならない状況となっています。

株式会社 TESS は、怪我・病気・加齢などにより衰えた下肢機能を補助しながら、安定した移動が可能で、リハビリテーション機能も兼ね備えた世界初の足こぎ車いす「Profhand/COGY」を開発しました。この車いすは一般的な福祉機器と同様に容易に扱えることから、看護師や介助士にも負担が少なく、医療現場での活用が期待されています。本調査では、試験運用を通じリハビリ技術の導入可能性を調査する他、医療従事者の日本での研修受入を行い、足こぎ車いすを利用したリハビリ技術移転を行いながら、タイでの事業化の可能性を検討します。



この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012 年度から実施されており、2016 年度第 1 回分は本年 2 月に公示を行いました。117 件の応募のうち 35 件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査 2016 年度第 1 回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北支部 市民参加協力課 上野(担当)

TEL 022-223-4772 e-mail : [Uwano.Midori@jica.go.jp](mailto:Uwano.Midori@jica.go.jp)